

2013 年 12 月 1 日 第 22 回 川口カップ 会長杯女子決勝戦

【白】西部エアーズミニバス (以下、エアーズ)

【青】リベルタミニバス (以下、リベルタ)

西部地区のライバルチームのエアーズとリベルタは、共に川口カップ初優勝を掛けた戦いとなった。

〈第 1 クォータ〉

試合開始、両チームともマンツーマンディフェンスで始まった。共に激しいディフェンスで、立ち上がりなかなかシュートが決まらない。そんな中、リベルタはセンターの⑫番に集めシュートファールをもらい徐々に得点を重ねていく。一方のエアーズは、リベルタの激しいディフェンスを崩すことが出来ない。3－15 で第 1 クォータを終了した。

〈第 2 クォータ〉

第 1 クォータ同様に両チーム、マンツーマンディフェンスで始まった。エアーズは、センターの⑧番にボールを集めるが、効果的には得点を重ねることが出来ない。一方のリベルタも⑦番がカットインやジャンプシュートを試みるがなかなか得点を重ねることが出来ず、9－19 で前半が終了した。

〈第 3 クォータ〉

前半同様に両チーム、マンツーマンディフェンスで始まった。エアーズはセンターの⑧番、リベルタはセンターの⑩番・⑫番にボールを集めるが両チームとも得点が伸びない中、両チーム⑦番の対一の攻防は両者譲らずに激しく展開して、12－22 で第 3 クォータが終了した。

〈第 4 クォータ〉

最終クォータも今まで同様マンツーマンディフェンスで始まり、エアーズの⑥番のカットインで得点をしたがリベルタの激しいディフェンスを崩すことが出来ず、ディフェンスのシステムを変えながらゲームの流れを変えようと試みる。それに対してリベルタは、⑩番のカットインなどで得点を重ね、エアーズの追撃を押し切り 17－28 で川口カップ初優勝を飾った。

両チーム共に、激しいディフェンス、巧みなハンドリング、素早いパスワークなど素晴らしい技術が披露され、まさに川口カップの決勝戦にふさわしい素晴らしい試合となった。この大舞台の決勝戦で、最後まで戦い抜いた両チームの選手達には、心より大きな拍手を送りたい。